



シーリングマイクロフォン

RM-CG

施工説明書

JA



VJK6420

日本語

安全上のご注意

ご使用前に、必ずよくお読みください。

必ずお守りください

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

データが破損したり失われた場合の補償や、不適切な使用や改造により故障した場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。

記号表示について

本製品や施工説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	注意喚起を示す記号
	禁止を示す記号
	行為を示す記号

警告

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

火に注意

本製品の近くで、火気を使用しない。火災の原因になります。

聴覚障害

電源を入れたり切ったりする前に、必ず本製品や接続している機器の音量(ボリューム)を最小にする。聴覚障害、感電または機器の損傷の原因になることがあります。

オーディオシステムの電源を入れるときは、パワーアンプをいつも最後に入れる。電源を切るときは、パワーアンプを最初に切る。聴覚障害やスピーカーの損傷の原因になることがあります。

設置と接続

取り付け工事は必ず専門の施工会社に依頼する。また、取り付けの場合は、以下の点に注意する。

- この機器の重量に十分に耐えられる取り付け器具と場所を選ぶ
- 継続して振動があるような場所は避ける
- 必ず指定された取り付け工具を使用する
- 定期的に保守点検を行う

注意

「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

異常に気づいたら

下記のような異常が発生した場合、すぐに PoE インジェクターまたは PoE ネットワークスイッチからケーブルを抜く。

- LAN ケーブルが破損した場合
- 製品から異常なおいや煙が出た場合
- 製品の内部に水や異物が入った場合
- 使用中に音が出なくなった場合
- 製品に亀裂、破損がある場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターに点検や修理をご依頼ください。

設置と接続

本製品と PoE インジェクターまたは PoE ネットワークスイッチとの接続には、IEEE802.3at 規格の最大給電電圧 (57 V) に対応した CAT5e 以上の LAN ケーブルを使用する。

規格に適合していないケーブルやフラットタイプやスリムタイプのケーブルを接続すると、火災や故障の原因になります。

ケーブルを傷つけない。

- 重いものを上にのせない
- 加工をしない
- ステーブルで止めない
- 無理な力を加えない
- 熱器具には近づけない

火災や感電、故障の原因になります。

不安定な場所や振動の多い場所に置かない。

本製品が落下して故障したり、けがをしたりする原因になります。

本製品を子供の手の届くところに置かない。

本製品は子供がいる可能性のある場所での使用には適していません。

本製品を設置する際は、

- 布やテーブルクロスをかけない。
- 天面以外を上にして設置しない。
- 風通しの悪い狭いところへは押し込まない。

製品内部に熱がこもり、故障や火災の原因になることがあります。

塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない。

故障の原因になります。

本製品を移動するときは、必ずすべての接続ケーブルを外した上で行う。

ケーブルをいためたり、お客様や他の方々転倒したりするおそれがあります。

ケーブルは人が通るところなど引っこかりやすい場所に置かせない。

つまずいて転倒したり、本製品が落下して破損したり、けがをしたりする原因になります。

分解禁止

本製品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。本製品の内部には、お客様が修理/交換できる部品はありません。

水に注意

本製品の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。

- 浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。

めれた手でケーブルを抜き差ししない。

感電のおそれがあります。

使用上のご注意

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、以下の内容をお守りください。

製品の取り扱い/ お手入れに関する注意

- 本製品をインターネットに接続する場合は、セキュリティを保つため必ずルーターなどを経由し接続する。経由するルーターなどには適切なパスワードを設定する。電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど）の通信回線（公衆回線 LAN を含む）には直接接続しない。
- テレビやラジオなど、他の電気製品の近くで使用しない。本製品、または他の電気製品に雑音が生じる原因になります。
- 極端に温度の高いところや低いところ、ほこりや振動の多いところで使用しない。本製品が変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります。
- 温度変化が激しい場所に設置しない。製品内部や表面に結露が発生し、故障したりする原因になります。
- 結露が発生しているおそれがあるときは、しばらく放置してから電源を入れる。結露した状態で電源が入ると、故障の原因になります。
- 本製品上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かない。変色/ 変質の原因になります。
- お手入れのときは、ベンジン、シンナー、洗剤、化学ぞうきんなどで製品の表面を拭かない。変色/ 変質の原因になります。
- グリルをはめたままグリルを下にして地面などに置かない。グリルが変形する原因となります。

お知らせ

製品の機能/データに関するお知らせ

- 本製品は、クラス A 機器です。本製品を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。(VCCI-A)
- 本製品で使用しているオープンソースソフトウェアのライセンス条文については、下記のウェブサイトをご覧ください。<https://download.yamaha.com/>
- 本製品は Dante Ultimo を使用しています。使用しているオープンソースライセンスについては、Audinate社のウェブサイト（英語）をご覧ください。<https://www.audinate.com/software-licensing>

施工説明書の記載内容に関するお知らせ

- この施工説明書に掲載されているイラストは、すべて説明のためのものです。
- 本書に記載されている会社名および商品名などは各社の登録商標または商標です。
- 弊社では製品のソフトウェアを継続的に改善しています。最新のソフトウェアはヤマハウェブサイトからダウンロードできます。
- 本書は発行時点での最新仕様で説明しています。最新版はヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

廃棄に関するお知らせ

- 本製品は、リサイクル可能な部品を含んでいます。廃棄される際には、廃棄する地方自治体にお問い合わせください

主な仕様

一般仕様

品名	シーリングマイクロフォン
色	黒、白
寸法 (W×D×H)	W560 mm × D560 mm × H90 mm (突起含む/マイクロフォンパネル部: H22 mm)
質量	5.6 kg (グリルを含む)
電源	PoE (IEEE802.3af)、DC 48 V
最大消費電力	7.2 W
動作環境	温度 0℃～40℃ 湿度 30%～90% (結露のないこと)
保管環境	温度 -20℃～60℃ 湿度 20%～90% (結露のないこと)
インジケーター	・Front (Mute/Unmute & Status) ・Network port
取り付け方法	・天井埋め込み (※ システム天井のタイル置き換えはできません) ・ワイヤーマウント ・VESA マウント
防塵性能	IP5X 相当 (端子カバー使用時)
プレナム定格	UL2043 (端子カバー使用時)

ネットワーク仕様

Dante/PoE 端子	Dante、リモートコントロール、Web GUI、PoE 対応 CAT5e 以上の STP ケーブルを使用すること
--------------	---

リファレンスマニュアルのご案内

- 本製品と RM-CR の接続方法は RM-CR リファレンスマニュアルをお読みください。
 - 本製品の機能や仕様の詳細は RM-CG リファレンスマニュアルをお読みください。
- どちらも下記のウェブサイトにて公開されています。
<https://download.yamaha.com/>

同梱品

(形状については裏面を参照してください)

- 施工説明書 (本紙) × 1
- シーリングマイクロフォン × 1
- グリル × 1
- グリル用固定ネジ (M3×8 mm) × 5(*)
- ネジカバー × 4
- 結束バンド × 1
- 端子カバー × 1
- 安全ワイヤー × 1
- コの字金具 × 1
- コの字金具固定用ネジ (M4×20 mm) × 5(*)
- C リング × 1
- C リング固定用ネジ × 2
- 穴あけ用紙 × 1
- 仮留金具 × 2
- 保証書 × 1

(*) 1本は予備です。

取り付け方

天井に埋め込む場合は裏面の手順を参照してください。

警告：

- 本体を取り付けたり安全ワイヤーを取り付ける場所に十分な強度があることを確認してから、取り付けを行ってください。
- 取り付け作業は、作業者の落下、および、本体や周辺の構造物などの落下、破損がないよう十分に注意して行ってください。

ご注意：

- 通電は、本体が確実に取り付けられたことを確認したあとに IEEE802.3af に対応した PoE インジェクターまたは PoE ネットワークスイッチに LAN ケーブルを接続してください。
- 使用できるケーブルは最長 100 m です。
- 電磁干渉防止のためには、STP ケーブル (シールド付きツイストペアケーブル) をお使いください。

■ 天吊り用 VESA マウント金具を使って取り付ける場合

VESA100 対応のマウント金具と取り付け用ネジをご用意ください。

VESA マウント金具の取り付け方法についてはそれぞれの VESA マウント金具の説明書を参照してください。以下は例です。

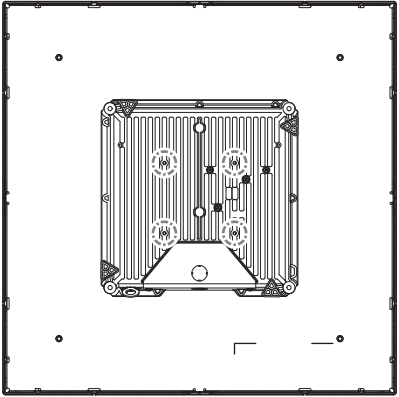
端子カバーを使用しない場合は、手順 **1** と裏面の手順 **2-1**、**9**、**11** を省略できます。ただし、防塵性能規格とプレナム定格は満たしません。

1. 端子カバーに配管を通す穴をあける。

配管を通す方向に端子カバーにケーブルホールを作ります。端子カバーには水平方向と垂直方向にケーブルホールをあけることができます。

ニッパーを使うことを推奨します。ドライバーなどで叩いてあけたり、マイナスドライバーであけようすると、端子カバーが変形することがあります。

2. VESA マウント金具を本体の下記ネジ穴にあわせて取り付ける。



3. VESA マウント金具を天井に取り付ける。

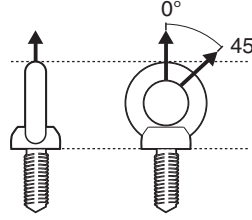
これ以降の作業は裏面の手順 **2-7**～**2-11** および手順 **4** を参照してください。

■ ワイヤーを使って吊り下げる場合

吊り下げるための十分な耐荷重のワイヤーやアイボルト (M6×13 mm 以下) などをご用意ください。

メモ：
アイボルトは各国の規格や安全基準にあったものをお使いください。

ご注意：
吊り下げる角度によって、アイボルトの強度が異なります。アイボルトは鉛直から 0°～45°の範囲で使用してください。



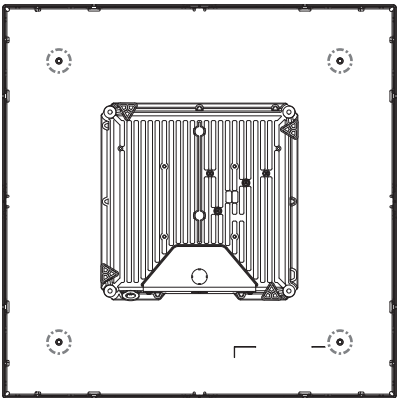
端子カバーを使用しない場合は、手順 **1** と裏面の手順 **2-1**、**9**、**11** を省略できます。ただし、防塵性能規格とプレナム定格は満たしません。

1. 端子カバーに配管を通す穴をあける。

配管を通す方向に端子カバーにケーブルホールを作ります。端子カバーには水平方向と垂直方向にケーブルホールをあけることができます。

ニッパーを使うことを推奨します。ドライバーなどで叩いてあけたり、マイナスドライバーであけようすると、端子カバーが変形することがあります。

2. 本体の下記ネジ穴にアイボルトを取り付ける。



3. 設置後本体が水平になるように注意し、天井から垂らしたワイヤーに取り付ける。

これ以降の作業は裏面の手順 **2-7**～**2-11** および手順 **4** を参照してください。

機種名 (品番)、製造番号 (シリアルナンバー)、電源条件などの情報は、製品の背面にある銘板または銘板付近に表示されています。製品を紛失した場合などでもご自身のものを特定していただけるよう、機種名と製造番号については以下の欄にご記入の上、大切に保管していただくことをおすすめします。

機種名
製造番号

